

令和6年1月15日
国土交通省関東地方整備局
総務部

関東地方整備局入札監視委員会 審議概要 (第二部会 第2回定例会議)

関東地方整備局入札監視委員会第二部会の第2回定例会議が、令和5年12月6日、横浜市内で開催され、工事2件、建設コンサルタント業務等2件、物品・役務の提供等1件の入札結果が審議されました。

審議内容は別紙のとおりです。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 埼玉県政記者クラブ 神奈川建設記者会 横浜海事記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 総務部

電話：045-211-7413 (代表)

メールアドレス：pa.ktr-keichou@mlit.go.jp

契約管理官 田口 由美子 (たぐち ゆみこ) (内線：5880)

経理調達課 課長 野路 靖雄 (のじ やすお) (内線：5870)

品質確保室 室長 廣瀬 好明 (ひろせ よしあき) (内線：5797)

令和5年度

関東地方整備局 入札監視委員会第二部会第2回定例会議 審議概要

開催日及び開催場所	令和5年12月6日(水) 関東地方整備局 131・132会議室	
委員	渡邊 健治 (東京大学大学院 教授) 土屋 志穂 (拓殖大学 准教授) 石坂 元一 (中央大学 教授)	
審議対象期間	令和5年4月1日～令和5年9月30日	
審議案件	総件数	5件
工事		
一般競争入札方式		2件
	政府調達	1件
	政府調達以外	1件
建設コンサルタント業務等		2件
物品・役務		1件
委員からの意見・質問、 それに対する説明・回答等	意見・質問	説明・回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	特になし	

○ 問い合わせ先

横浜市中区北仲通5丁目57番地 横浜第二合同庁舎

電話 045-211-7413 (経理調達課)

国土交通省関東地方整備局 入札監視委員会第二部会事務局

契約管理官 田口 由美子

経理調達課長 野路 靖雄

品質確保室長 廣瀬 好明

意見・質問	説明・回答
<p>【報告事項】</p> <p>(1) 入札・契約手続の運用状況等報告 (2) 指名停止等の運用状況等報告 (3) 談合情報等の対応状況報告 (4) 一者応札の発生状況 (5) 高落札率の発生状況 (6) 事務所毎の平均落札率の推移 (7) 技術提案・交渉方式発注の報告</p> <p>令和5年度 東京国際空港空港アクセス鉄道 開削部（P3駐車場前）躯体築造工事</p> <p>(4) に対する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 一者応札であった東京湾浅場造成工事においては、多くの者が応札できるような対策は考えているのか。 <p>(1)～(3) (5)～(7) 報告内容に対する意見・質問なし</p>	<p>・本工事は受託工事であり、別件工事から受け入れた土砂により浅場造成を行っています。土砂搬出側の工事進捗状況により工程管理に影響を及ぼすため、不確定な要素が多いことから応札意欲に影響していると考えています。発注前に、土砂搬出側の工事と工程調整を行った上で特記仕様書に反映し、競争性を確保した発注に努めてまいります。</p>
<p>【事案1】</p> <p>一般競争入札方式（政府調達・港湾土木工事） 「令和5年度 東京港臨港道路（南北線）付帯施設 製作・設置等工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> 技術評価点1位の者が入札辞退している理由を伺いたい。 技術者の配置が理由で辞退となることはよくある事なのか。 緊急に工事発注を行う場合であっても、入札の競争性を確保するための対策は取っているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 入札辞退した者にヒアリングを行ったところ、電気工事の技術者を確保できず辞退したと聞いています。 予定していた技術者を別件工事に配置したため、技術者が配置できず入札を辞退した事例はあります。 東京港臨港道路の建設においては、複数の事業者が沈埋函製作・据付工事を実施しており、施工可能な者は複数いると判断し一般競争で発注しています。なお、本工事に限らず、適切な範囲で施工実績を幅広く設定することにより競争性を確保した発注に心がけております。

<ul style="list-style-type: none"> •本件は土木工事が主たる工事だと思うが、評価点が高かったにもかかわらず電気工事の技術者が手配できないため辞退されているのは残念に思う。技術者不足で辞退することを防ぐために何か対策は考えているか。 	<ul style="list-style-type: none"> •本工事は、港湾土木工事では施工事例が少ない高圧電線に係る工事が含まれているため、電気工事の技術者が必要となりますが、電気工事など特定の分野の技術者が不足しているといった状況にあると聞いています。今後も同様の工事がある場合は、事前に技術者を確保することが可能であるか情報収集した上で、発注見通しで具体的な要件を提示するなど工夫していきます。
<p>【事案2】 一般競争入札方式（政府調達以外・港湾土木工事） 「令和5年度 茨城港常陸那珂港区中央心頭地区岸壁（-12m）本体工事」</p> <ul style="list-style-type: none"> •同種工事の発注が多く続くと、技術評価のポイントが類推されやすくなり、談合にもつながる恐れがあると思うが、それを防止する対策を講じているか。 •積算内訳の一般管理費の比率が各社大きく異なっているが、一般管理費は比率に差が出やすいものなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> •現場条件に合わせて、技術提案の対象や範囲を変えることにより技術評価のポイントを変えています。例えば、ケーソンを陸上製作する場合と海上製作する場合では施工条件が異なるため、品質管理などで求める技術提案のポイントを変えており、同種工事の発注が続いたとしても、技術評価のポイントが類推されにくいように工夫しています。 また、入札結果の公表においても、技術評価の詳細までは公表していないため、技術評価のポイントが類推されることはないと考えています。 •一般管理費は、工事の施工にあたる企業の経営管理等に必要な経費であり、役員報酬や給与等に充当される費用となるため、各社の努力によって差が出たものと思います。
<p>【事案3】 簡易公募型競争入札方式（建設コンサルタント等） 「令和5年度 東京国際空港D滑走路動態観測調査等業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> •大規模な観測システムが導入されているが、動態観測と保守点検を併せて発注することが適当なのか。 	<ul style="list-style-type: none"> •システムを設置した当初は、動態観測及び健全度評価業務と保守点検業務は分割して発注していました。平成30年度の保守点検業務において入札不調が発生したため、入札不調の理由をヒアリングしたところ、管理技術者の配置が困難であったため応札できなかったとのことでした。このため、技術者配置の負担を軽

<ul style="list-style-type: none"> • 空港制限区域内の業務であり、参加が難しい入札と思慮されるが、その上でも応札者を増やす対策はないか。例えば、制限区域内のルールを受注者にレクチャーする仕組みを作るなどの工夫はできないのか。 • このような契約形態が5年続いていること、健全度評価が非常に重要かつ困難で空港制限区域の制限を受ける業務であることを鑑みて、入札ではなく随意契約とすることはできないか。 今後、動態観測の手法や新しい技術が出てくるので、技術力のある者が継続してシステム更新や異常時の対策をしたほうが良いのではと考えるか如何か。 	<p>減する観点から、動態観測と保守点検を併せて発注しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 参加要件については最大限緩和していますが、空港制限区域内の業務であり、参加者数が少ない傾向にあります。引き続き、発注規模等や工期等を適切に設定するなど、競争性確保に努めてまいります。 • D滑走路は、100年間の維持管理を目指しており、当面は維持管理データの蓄積をして健全度評価を行います。長い年月をかけて対策していくことから、発注の現状を考慮すると、先ずは入札参加者への門戸を開くことが大切であり、入札不調対策を講じながら進めてまいります。 今後も、維持管理データの蓄積と共に契約形態を検討してまいります。
<p>【事案4】 簡易公募型プロポーザル方式（測量・調査） 「令和5年度 京浜港貸付国有港湾施設定期点検業務」</p> <ul style="list-style-type: none"> • 技術提案書の提出を辞退した理由について伺いたい。 • 予定していた技術者が配置できなくなったことによる辞退は、他の案件でも発生しているようであるが、1者応札にならないように今後に向けての対策や有効な手段は考えられるか。 • 点検業務の実施については、新しい点検方法等・技術等も日進月歩で出てきているかと思われる。1者応札の理由にもなっているが、技術者が確保できない等の人手不足に対して、新しい技術の導入による効率化、省人化について、発注の段階から推奨するような事ができれば良いと考えるところだが、今後新しい技術を取り入れるためにはどのような手段が考えられるか。 	<ul style="list-style-type: none"> • 辞退した者にヒアリングを行ったところ、意欲はあったが、他業務に人員を配置したため、本業務に人員を配置できなかったと聞いています。 • 過去5年間の同業務の応札状況については2～5者の応札が確認出来ており、競争性は確保されていると考えております。しかしながら、1者応札の状況が続くようであれば改善が必要と考えますので、今後の入札結果の動向を注視してまいります。 • 本業務について、点検業務をする場合にドローン等のICT技術の活用は省人化等にもつながり、有効的な手段ではないかと考えています。本業務もプロポーザル方式で発注していますが、民間の技術を出来るだけ提案してもらえるように技術提案のテーマ設定について引き続き検討してまいります。

<p>【事案5】 企画競争方式（役務の提供等） 「令和5年度 首都直下地震防災に関するシンポジウム企画・運営支援業務」</p> <ul style="list-style-type: none">• 予定価格と契約金額が同額であった理由を伺いたい。	<ul style="list-style-type: none">• 本業務の内容は、企画競争方式により企画提案書と共に見積書も審査し、特定された者の企画提案に基づき実施されるものですので同額になりました。
<p>【まとめ】 本日の審議に関して、特に意見の具申及び勧告等はなし。</p>	

【工事】

入札方式	工事名	工事種別	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
一般競争入札方式	令和5年度 東京港臨港道路（南北線）付帯施設製作・設置等工事	港湾土木工事	2	1	R5.9.20	東亜建設工業株式会社	614,900	99.9	
一般競争入札方式	令和5年度 茨城港常陸那珂港区中央の頭地区岸壁（-12m）本体工事	港湾土木工事	6	5	R5.9.13	あおみ建設株式会社	315,645	91.5	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	競争参加資格を 確認した者の 数	入札参加 者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型競争入札方式	令和5年度 東京国際空港D滑走路動態観測調査等業務	建設コンサルタント等	1	1	R5.4.17	一般財団法人沿岸技術研究センター	22,110	98.8	

【建設コンサルタント等】

入札方式	業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
簡易公募型プロポーザル方式	令和5年度 京浜港貸付国有港湾施設定期点検業務	測量・調査	2	1	R5.5.26	国際航業株式会社	39,908	96.5	

【役務の提供等及び物品の製造等】

入札方式	業務名	業種分類	企画提案書の提出者数	企画競争参加資格要件を満たす企画提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位：千円)	落札率 (単位：%)	備考
企画競争方式	令和5年度 首都直下地震防災に関するシンポジウム企画・運営支援業務	役務の提供等	2	2	R5.6.9	株式会社神奈川新聞社	3,956	100.0	